

# 平成31年度学校を核としたふるさと創生事業 実施要項

平成31年4月1日

佐伯市教育委員会

## 1. 目的

生活科及び総合的な学習の時間を要に、地域の特性を踏まえ、地域の「ひと・もの・こと」を活用しながら、学校を核とした地域の活性化を推進する取組をとおして、児童生徒にふるさとへの愛着や誇りをはぐくみ、夢や希望をもってふるさとの未来を創造する資質・能力をそなえた人材の育成をめざす。

## 2. 事業実施方法

(1) 佐伯市教育委員会は、次のことを行う。

- ①佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年10月策定）の基本方針・基本目標及び各学校の実状を踏まえ、学校を核としたふるさと創生事業の目的を定める。
- ②学校を核としたふるさと創生事業の目的を踏まえ、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の13年間を見通した育成をめざす付きたい力を設定する。（「13年間を見通した生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表」として、付きたい力の系統表を作成する）
- ③各学校が作成する本事業に係る生活科・総合的な学習の時間における付きたい力、カリキュラムについての指導・助言を行うとともに、本事業に係る生活科・総合的な学習の時間における実践上の指導・助言・情報提供を行う。

(2) 各学校は、次のことを行う

- ①各学校長の指導のもと、研究主任、総合的な学習の時間担当者は、本事業に係る研究を推進する。
- ②本事業の目的を、各学校の総合的な学習の時間の目標に反映させる。
- ③「13年間を見通した生活科及び総合的な学習の時間における育成を目指す資質・能力系統表」をベースにし、本事業に係る生活科・総合的な学習の時間の付きたい力を設定する。
- ④学校ごとに設定した生活科・総合的な学習の時間の付きたい力を踏まえ、年間指導計画等のカリキュラムを作成及び見直しをする。
- ⑤目標達成に向けて、年間指導計画等のカリキュラムに沿った具体的な取組・実践を行う。

#### <取組・実践例>

##### ○市全体の共通テーマに基づく取組

- ・佐伯の歴史・文化・先人・防災

##### ○一校一実践の取組

- ・伝統芸能・伝統技術の継承 ・B級グルメ商品開発
- ・地域の名所・旧跡案内（歴史と観光） ・地場産業の研究

⑥本事業の目的に照らして、取組・実践の成果、次年度以降に向けた課題、特徴的な実践例等を実践報告書にまとめ、佐伯市教育委員会に提出する。様式は別途定める。

### **3. 学校を核としたふるさと創生プラン作成会議について**

(1) 佐伯市教育委員会は、学校を核としたふるさと創生プラン作成会議設置要綱（別紙）のもと、学校を核としたふるさと創生プラン作成会議を行う。

### **4. ふるさと創生祭について**

(1) 各学校の取組の表現の場として、次のように、ふるさと創生祭を企画し、開催する。

- ①ふるさと創生祭実行委員会を立ち上げ、企画・運営の詳細を話し合う。
- ②2019年11月14日（木）に、プレ創生祭を開催する。
- ③第1回ふるさと創生祭は2020年11月に開催する。
- ④各学校は、ステージ発表、ポスターセッション等で学習の成果を発表する。
- ⑤ふるさと創生祭は3年に1回の開催とする。

### **5. その他**

(1) 本事業の実施に当たっては、佐伯市小・中学校校長会及び佐伯市学校教育研究会生活科部会・総合的な学習の時間部会の協力を得る。

## ふるさと創生祭（プレ祭）で発表する内容の紹介

<p>学校名（*・中・小～小・児童）</p>	<p>内容の紹介</p>
佐伯東小	<p>本校の4年生は、学校教育目標「夢いっぱい、笑顔いっぱい、ふるさと大好き東っ子」の中から「夢」をテーマにして、学校の創を流れる臼坪川にホテルを自生させることを「夢」みて活動しています。自分たちでホテルを即ちから育てながら「夢」の実現をめざしており、地域や環境保護に関わる方々との関わり、そして自然の中での活動を通して課題解決に向けて探究してきたことを発表します。</p> <p>「地震や津波から命を守る」をテーマに1学期から学習を進めてきました。東日本大震災の映像を見て、ただおそそしいと自然災害におびえてばかりはいませんが、自分の命を自分で守るためにできることを真剣に考えながら、地域の課題も考えました。今後30年以内に高い確率で起きると言われている大地震にもあわせて対応できるように私たちなりに考えたことを発表します。</p>
渡町台小	<p>30年先の佐伯が住みやすい町であるために、自分たちで28班に分かれ調査研究しました。研究の柱は「健康増進」・「国際共生」・「地域情報発信」・「安全安心」・「子育て」の5つで、6月に全国大会で発表した内容を更に磨き上げ、佐伯市民に提案する内容を代表のグループに発表してもらいます。</p>
鶴谷中	<p>総合的な学習の時間に、佐伯小校区にある寺院にだけ、「佐伯の昔話」など書籍のよっての言い伝え、言い伝え、伝説などを調べ、それらを物語文にしたり、パンフレットにしたりする活動を行っています。そして、それらを観光客へアピールする活動をしている。各新聞局の方からその地域の特徴について学びました。そして、実際にその地域を訪れ、自分の目で見えたことや人ととのつながりの中から見えてきたことをまとめて発表します。その活動の経緯を発表しました。</p>
佐伯小	<p>鶴岡小学校6年生97人で演奏します。運動会や地域の商工祭も披露し、多くの方に見ていただいています。</p>
鶴岡小	<p>鶴岡小学校の「桜歌」と「バブリカ」という曲を7種類の楽器を弾いて演奏します。</p>
佐伯城南中	<p>1ふるさと佐伯の魅力発見！～佐伯の魅力発信しよう～というテーマのもと、旧佐伯市以外の地域（上浦・米水津・鶴見・蒲江・赤生・直川・宇田・木匠）について探究しています。パンフレットやパンコングでの調べ学習からスタートし、各新聞局の方からその地域の特徴について学びました。そして、実際にその地域を訪れ、自分の目で見えたことや人ととのつながりの中から見えてきたことをまとめて発表します。</p> <p>※鉄道の歴史上 2～3地域の発表になります。重点的に松茂記念会を主催し、作者地域を、法定します。</p>
* 八幡小	<p>八幡小学校5年生は、生かす育った本校の校区である、「八幡地区」と「西上浦地区」の2地域の「方」の地域をよま深く知りたこと考え、地域に出かけて、調べ学習に取り組みました。地域の方々のお話や見学したことをもとて、八幡地区には「五丁の市」と「大宮神社」を、西上浦地区では「彦岳」「朝市」について、文章やイラストでまとめました。また、大分合同新聞の記事となる予定です。 ※松茂紙 2～3枚</p>
彦陽中	<p>毎年、文化祭で「ふるさと」を合唱しています。今年は、当日だけでなく練習にも参加していただいて、一緒に発表できたらと願っています。練習風景や発表の様子などのブレゼンを織り交ぜながら合唱を発表しようと考えています。</p>
* 上堅田小	<p>1学期に社会科の授業で明瞭絵に行った。その中で興味のある場所についてグループで調べ学習をした。2学期はその中で特に興味を持った「おぼけトンネル」について由来や歴史を調べていく。通学路にある暗く通りにくい通称「おぼけトンネル」を「楽しいトンネル」にするために自分たちでできることを考え、身近な人々にインタビューをしていく。そのアンケート結果からどのようなトンネルにしたらよいか、子どもたちと原稿に力を入れていくことまでを流れを模造紙にまとめました。（例）ベシキで明るくしていく など</p>
* 下堅田小	<p>4年・下堅田地域にある「龍王山」はとも景色がよく、素敵な場所です。龍王山のことも多くの人に知ってもらいたいと思い、「龍王山に登ろう会」の方お話を聞いたり、周辺の様子も調べたりしてパンフレットを作りしました。</p>
* 青山小	<p>5年・私たちは、聖田で合流のアスファルトを広く取り組みました。アンケートの結果から、レンビが足りない声が多く聞きました。自分たちでオリジナルのレンビを考案しました。</p>
* 木立小	<p>青山小学校3～6年生を対象に、総合的な学習の時間の取り組み「青山地区を盛り上げる」「青山もりあげ隊」という活動に取り組んでいきます。今年度も4年目の活動である。昨年年度は「青山おすすめマップ」の作成に取り組みんだ。お勧めしたい場所に見学に行ったりインタビューしたり、内容をまとめ方お話し合ったりして手作りのマップを作成させた。出来上がったマップは、鶴岡小と木立地区に5ヶ所から伝わる扇筒し、地域にとってはとても大切な伝統芸能のひとつです。それを引き継ぎ、ふるさとを大切に思う心を育てるために、運動会でも、地域の方と一緒に踊っています。今日は、これまた太鼓や獅子を指導して下さった鶴岡保存会の皆さんと一緒に披露いたします。</p>
佐伯南中	<p>本校では、毎年3年生が、将来就きたい職業や興味・関心のある職業について、佐伯市内の事業所での体験学習を実施している。生徒は、職業観・勤労観だけでなく、ふるさと佐伯で働く人々の思いや考え方を理解する。そして、学習の成果として、学んだことを文化祭においてプレゼンテーションしている。今回は、そのプレゼンテーションを再現する。</p>
東雲小	<p>昨年度、上浦を盛り上げるための「ゆるキャラ」をみんなが1つずつ考え、全校のみんな、地域のみなさん、地域の方から投票してもらい、2つに絞りました。その「ゆるキャラ」の名前を市報で公表しました。そして、命名されたふたつはミンズ（ふたみんさん）、マクロン、この「ゆるキャラ」で、上浦を盛り上げるために、5、6年生11人が3つのグループに分かれ、上浦新聞局の方々に協力してもらい、①クッキー、②缶バッチ、③ポストカード作りをします。その活用法を模索しています。</p>
東雲中	<p>本校では、上浦の地域おこしの一環として、「JRFウォーク、かみうら食まつり」や「注連縄張り替え」等の行事に取り組んでいく。地域とのつながり地域おこしについて自分たちができることを考え、地域に於ける中学生の役割を果たしている。今回は、JR、地域事業所と協力して行った取り組みの様子をまとめたいものを発表します。</p>
* 明治小	<p>総合的な学習の時間等で学んだ地域の良さについて紹介する内容</p>
* 上野小	<p>生活科の学習を通して、佐伯のシンボリックである城山の自然や動物の生態にふれ、さまざまなふるさとの魅力を発見する活動について紹介しています。城山観察を通して、見る・聞く・触る・嗅ぐなどの五感を働かせた記録を「城山マップ＆ニュース」に表現してまとめていきます。実際に持って帰ったもので作成した遊玩作品と合わせて展示予定です。</p>
* 切畑小	<p>切畑小の5年生は、地域の豊かな自然を生かした卵生の町づくりに基づき、特産物である生麦や米を育てたり調べたりして学んでいます。また、地域で暮らして行われてきた味噌づくりに興味を持ちました。そして、それらを生かした料理のレシピを作る過程を紹介し、地域の良さを感じるとともに、アピールします。</p>
昭和町	<p>佐伯市を流れる番匠川は、豊かな恵みをもたらしてくれます。私たちは、幼い頃から泳いだり釣りをしたりして番匠川に親しんできましたが、知らないことが多いと感じました。そこで、総合的な学習の時間を中心に、1年生は川の危険や災害からの身を守る防災について、2年生は過去の災害と伝統漁法について、3年生は1・2年の学習をふまえて番匠川の地形や環境についての調査レポートを作成しました。</p>
* 本匠小	<p>3(年) 本匠の大水車についての調べ学習 (4年) 番匠川の川魚やホテルの歴史調べ (5年) 本匠の農産物についての調べ学習 (6年) 平和学習で調べたこと</p>
本匠中	<p>本匠小半地区に昔から伝わる、佐伯市無形民俗文化財にも指定されている「小半の扇子踊り」を紹介しています。これらの踊りは継承者や踊り手の高齢化が進む中、「地域の伝統芸能を残したい。」と昨年夏、本匠中学校生徒徒が練習を重ね、地区文化芸術祭で発表しました。全校生徒による「扇子踊り」「団七踊り」「太鼓」「口説き」「踊り」に分かれて発表しました。</p>
宇目緑豊小	<p>100年以上の歴史がある宇目神社の祭日12番の町から「五方札処」を小學生が、「天孫降臨」を中学生が、それぞれの一部を披露する。また、これまでの総合的な学習の時間で開催してきた「これはどういう意味？」「もっと知りたい」と調べたことを探究活動の成果として、神楽の披露と合わせて、演目の意味などについても紹介する。小中が別々ではなく、協働で一つの発表ステージを築める。</p>
宇目緑豊中	<p>獅子・龍川の祭典である「カブトムシ」を通じて学んだことの発表</p>
直川小	<p>①カブトムシについて調べよう ②カブトムシをつかまえよう ③カブトムシ木登り競争をしよう ④カブトムシを飼おう ⑤カブトムシのミニメシについて調べよう ⑥カブトムシパンづくり体験 ⑦龍川にとつてのカブトムシとは</p>
* 直川中	<p>1学期にテーマを決めて取り組んだ総合学習の成果物を学年ごとに掲示する。</p>
松浦小	<p>展示内容は、1学年は体験体験、2学年は修学旅行・3学年は龍川祭、展示物の大まかさは、3学年に合わせて模造紙3枚を予定している。</p>
* 鶴見中	<p>私たち松浦小学校の児童は、秋の「松まつり」のとき、毎年、おいしい「ごまだし」を食べています。そこで、鶴見地区の郷土料理や「ごまだし」について調べる活動を通して、作り手の苦労や願い、知恵、地元食文化、料理のよさを学習してきました。特に「ごまだし」は鶴見地区の女性グループが生産し、全国に発信している食材です。わたしたちも鶴見の食材・郷土料理を大切に、自分たちでできる方法で多くの人に「おいしい」「ごまだし」を伝えていきたいと思っています。</p>
米水津小	<p>地元分の魅力を英語を使ってパンフレットにまとめ、修学旅行で京都へ来ていた外国人へ紹介する。展示予定は各班制作のパンフと紹介の様子、活動を終えての生徒の振り返り。</p>
米水津中	<p>米水津の自然や水産加工業について調べたり、体験したりすることを通じて、海に関わる仕事をしてみたい人々の知識・工夫・思いを知り、地域を愛する気持ちの高まりとともに、これからの米水津の水産物の発展のために自分たちにもできることは何かを考え発表をします。</p>
米水津小	<p>本校では、瀬田や地域の方々の協力を、米水津地域の特産である「ひじき」を学校周辺の海で採集し、加工・調理する体験学習を行っている。3年生では、それらに関わる人々の努力や工夫によって支えられていることを実感し、「地域の自然の恵みを生かすアイデアを考えよう」をテーマとして、「生青葉模」1冊とし、「商品」「アイデア料理」の4グループに別れて調べ学習を行うとともに、ふるさと米水津の魅力発信教室の場にも参加して、浦江校区でテングサ漁などの水産加工に関わる人達への思いや願いを周りに伝えたい探究の過程を掲示物に表しています。</p>
* 浦江翔南小	<p>校区の場にしてきたテングサについて興味・関心を高めたい子ども達がゲストスピーカー（テングサ漁に関わる森崎さん）にテングサのことやテングサ漁にかける思いを聞き取り、心水やアレンゲおやつを作ったりすることなどを通して、浦江校区でテングサ漁などの水産加工に関わる人達への思いや願いを周りに伝えたい探究の過程を掲示物に表しています。</p>
浦江翔南中	<p>近年年間顕著な水、大塚G20でも顕著の一つに上がった「海洋のプラスチックのごみ問題」。浦江に住み海とともに生きる私たちは無関係でははいられません。授業を通じて調べたことを中心に発表し、これから私たちがどうすべきかを考えました。</p>
	<p>1. 瀬江の漁とくらし、 2. プラスチックごみ問題とは、 3. 何が問題なのか、 4. これまでの対策と課題、 5. 私たちが今、するべきこと、 6. 瀬江の漁の今、</p>

## ふるさと創生祭「プレ大会」実施要項

佐伯市教育委員会学校教育課

令和元年8月1日

- 1 目的 ◎ふるさと創生祭（仮称：佐伯っ子ふるさと祭り）本番を想定し、各小・中学校で行われている総合的な学習の時間での学びの成果を発表・交流することを通して、「ふるさと創生祭」の実施に向けた課題を探る。  
○自校の取組を地域へ発信し、「地域とともにある学校づくり」への理解を促進する。  
○児童生徒のふるさとに対する理解を深め、表現力の育成をはかる。
- 2 期日 令和元年11月14日（木）
- 3 会場 佐伯文化会館 大ホール、中ホール
- 4 参加者 対象は全学年（参加者は学校判断で決定）  
※佐伯小学校は佐伯城南中校区の学校として参加  
※1中学校区あたり40名以内  
※バスの送迎を必要としない学校には、参加人数の制限を設けない

## 5 内容

&lt;大ホール&gt;

○「ステージパフォーマンス」

・学びの成果をステージで表現。（伝統芸能の表現、歌、演奏など）

○「ステージ発表」

・パソコンを使った、地域の「ひと・もの・こと」を生かした学びの発表。

※発表時間は、小中合わせて2校の中学校区【グループA】は20分間、3校以上の中学校区【グループB】は40分間（入退場を含む）。

※発表する学校は、学校単独、小中合同のどちらでもよい。

※プレ祭で発表する学校と、創生祭で発表する学校は重なってもよい。

※発表の内容は、地域の方と協働した学びの成果の発表（総合で学んだ伝統芸能、クラブ活動で学んだ琴の演奏など）や教科等の学習成果の発表（地域の「ひと・もの・こと」を生かした総合学習での学び、合唱、合奏、音読、地域調べ学習）などが考えられる。内容や構成は中学校区ごとに創意工夫し決定する。

&lt;中ホール&gt;

○学びの過程や成果の展示

・大ホールでの発表をしない学校は、中学校区ごとに設けたブースに、成果物等を展示する。

※「アンケート」等を利用すれば、学びの途中の情報収集の場ともなる。

※展示の内容は、地域の「ひと・もの・こと」を活用した、各教科・総合的な学習の時間での学びの過程や成果物、「ふるさと」を題材とした作品などが考えられる。内容は中学校区ごとに決定する。

※中ホールの展示準備は、前日（11月13日）午後（15:00～16:30）行う。

## 6 当日の日程

○学校から佐伯文化会館までは、バスで送迎。(バスは市教委が手配)

※佐伯小、佐伯東小、鶴谷中、佐伯城南中の児童生徒が参加する場合は徒歩で移動。

時刻	大ホール	中ホール
9:00～ 9:10	○開会行事	○学びの成果の展示
9:10～ 9:30	【A】 グループAの学校からの発表	↓
9:30～10:10	【B】 グループBの学校からの発表	
10:10～10:30	【A】	
10:30～11:10	【B】	
11:10～11:30	【A】 彦陽、東雲、本匠、	
11:30～12:10	【B】 宇目緑豊、直川、鶴見、	
12:10～13:00	休憩 米水津、蒲江翔南	
13:00～13:20	【A】 【グループB】	
13:20～13:40	【A】 鶴谷、佐伯城南、	
13:40～14:00	【A】 佐伯南、昭和	
14:00～14:20	【A】	
14:20～14:40	【A】	
14:40～15:20	【B】	
15:20～15:30	○閉会行事	↓

発表を聞く立場での参加依頼

## 7 今後の予定

	学校	実行委員会・市教委
8月	・中学校区ごとに発表内容の調整・決定 【8月23日(金)】まで	
9月	○実行委員会② ・担当者会議①	*プログラム編成 *児童生徒の移送計画 ○実行委員会② ・担当者会議①
日程の詳細、参加者・内容確認、発表順、展示内容、移送計画、係分担、		
10月	◎各学校での、地域の「ひと・もの・こと」 を生かした実践の充実 ・当日に向けた練習(各学校で) ○実行委員会③	*広報(市報、CATV等) ○実行委員会③
11月	○実行委員会④ ・担当者会議②	○実行委員会④ ・担当者会議②
当日細案、係分担確認、		
11月14日	◎ふるさと創生祭(プレ)	◎ふるさと創生祭(プレ)
12月	・担当者会議③	・担当者会議③
プレ大会のふり返り(日程、内容、運営、周知方法)、改善策の検討、		
	○実行委員会⑤	○実行委員会⑤